

は楽観できないものがあります。

薩摩川内市の誕生によりすべてが好転するわけではなく、状況により痛みを伴うことも予想されます。

したがって、長期安定的な住民サービスの提供、地域の活性化のため、財政基盤、行政機構の強化など更なる自己改革をスタートさせるとともに、薩摩川内市まちづくり計画に掲げる、各地域の特性、資源、10万人都市の魅力を最大限発揮できる「地域力が奏でる都市力の創出」、地区コミュニティを中心とした共同体制の構築により、「市民が創り市民が育む交流躍動都市」を目指していきたいと考えております。

薩摩川内市誕生に関しては、川薩地区法定合併協議会での22回の協議会を始めとする1,000回に迫る各種会議、6,000名を超える参加をいただいた住民説明会、全職員による7,000項目に迫る事業項目の調整作業など行われました。

住民の皆様をはじめ、合併協議に御協力を賜った協議会委員、各市町村議会議員、国、県各関係機関、関連団体の皆様、合併事務に携わった市町村職員には、改めて厚く御礼申し上げます。

ここに記録された合併協議の経過を踏まえながら、市民の皆様とともに薩摩川内市の発展のため邁進したいと存じます。

